

令和5年度

高松市美術館協議会資料

美術館美術課

目 次

令和4年度事業報告

1 高松市美術館

(1) 展覧会・貸館	2
(2) 教育普及活動	5
(3) 芸術的催し物	12
(4) 施設の提供	13
(5) 美術資料の収集	13
(6) 美術館ボランティアの活動	16
(7) 高松市美術館サポートショップ事業	16
(8) ブランチギャラリー	16
(9) 新型コロナウイルス感染症対策	17
(10) ICTの活用	17
(11) キャッシュレス化	17
(12) 自己評価	17

2 高松市塩江美術館

(1) 展覧会	18
(2) 美術講座	19
(3) その他事業	20
(4) 美術資料の収集	21
(5) 新型コロナウイルス感染症対策	21
(6) 自己評価	22

令和5年度事業計画

1 高松市立美術館の運営方針	24
2 高松市美術館	25
3 高松市塩江美術館	29
4 令和5年度予算	32

令和4年度事業報告

令和4年度事業報告

1 高松市美術館

高松市美術館の利用者数 149,230人（開館日数 310日）

(1) 展覧会・貸館

美術館主催展として特別展及びコレクション展を開催するとともに、貸館として一般展示室・企画展示室及び市民ギャラリー等を美術団体・個人や小グループ等の利用に供した。

◎ 展覧会

開催展数：56展（第40回日本伝統漆芸展・貸館を含む）

開催延日数：668日間

入場者数：111,537人（1日平均 167.0人）

ア 特別展

開催展数：5展 開催日数：187日間

入場者数：50,603人（1日平均 270.6人）

展覧会名	会期	日数	入場者数 (人)	展覧会の内容
tupera tupera のかおてん.	4/16 (土) ～5/29 (日) *5/2 (月) 開館	39日	16,729	2人組人気クリエイティブ・ユニット tupera tupera (ツペラ ツペラ) による「顔」をテーマにした展覧会。絵本原画をはじめ、新作映像作品「かおつくリズム」や、来場者が様々な仕掛けを発見していく巨大インスタレーション「かおカオス」や、体をつかって顔をつくる「床田愉男」など参加・体験型の作品を展示。大人から子どもまで誰もが楽しめたユニークな展覧会となった。
みる誕生 鴻池朋子展 *瀬戸内国際芸術 祭2022参加展覧会	7/16 (土) ～9/4 (日) *7/18 (月・祝)、 8/15 (月) 開館	45日	8,090	鴻池朋子は生まれたての体で世界と出会う驚きを「みる誕生」と名付けた。エントランスホールには《皮トンビ》が飛翔し、展示室には《どうぶつの糞》などが人間の痕跡である美術館のコレクションと共に展示された。また、最後の部屋「インタータイダル・ゾーン (潮間帯)」では、大島でも展示した絵画クラブ「金陽会」の作品や、手芸《物語るテーブルランナー》などが波のように寄せ合っていた。

<p>高松コンテンポラリーアート・アニュアルvol.11 フラジャイル／ひそやかな風景</p>	<p>10/1 (土) ～11/6 (日)</p>	<p>32日</p>	<p>3,560</p>	<p>独創性のある作家を紹介する現代美術のグループ展。 今回は、赤松音呂、諫山元貴、稲崎栄利子、北野謙、本田健による作品を通して、「フラジャイル (fragile=こわれやすい、繊細な)」な表現の魅力に迫った。トークやワークショップ等イベントも開催し、新しい芸術表現を高松から発信した。</p>
<p>さくらももこ展</p>	<p>11/12 (土) ～12/25 (日)</p>	<p>38日</p>	<p>18,785</p>	<p>「ちびまる子ちゃん」「コジコジ」「ものかんづめ」など数多くの大ヒット作品で知られ、まんが家、エッセイスト、作詞家、脚本家…と多岐にわたるジャンルで活躍した稀代のアーティスト、さくらももこ。 日常の小さな出来事をいつくしみ、描くことと書くことを楽しみつづけた作家のカラー原画や直筆原稿を一堂に展示し、その全仕事に迫った。</p>
<p>高松市美術館コレクション^{プラス} 版画でたどる20世紀西洋美術 -画家たちの挑戦-</p>	<p>2/11 (土・祝) ～3/21 (火・祝)</p>	<p>33日</p>	<p>3,439</p>	<p>版画は時代の変化や技術の発達を色濃く映しだしてきた技法である。 本展では、当館が所蔵する版画作品を中心に、ピカソやマティスらの巨匠から、アメリカで新しいアートを切り拓いたデュシャンやウォーホル、現代アーティストとして知られるジュリアン・オピーやダミアン・ハーストまで、20世紀に活躍した芸術家たちの作品を通して、彼らの軌跡を辿った。</p>
<p>合計</p>	<p>187日</p>	<p>50,603</p>		

イ コレクション展

開催展数：4展 開催日数：239日間

入場者数：18,555人（1日平均 77.6人）

展覧会名	会期	日数	入場者数 (人)	展覧会の内容
第1期	4/6（水）～7/3（日）	78日	6,965	常設1 そっくり！びっくり！ 現代アート 常設2 讃岐漆芸にみるリアリズム
第2期	9/8（木）～11/13（日）	58日	4,028	常設1 色彩との出会い —瀬戸内国際芸術祭2022参加作家を中心に 常設2 讃岐漆芸にみる四季
第3期	11/16（水）～ 12/25（日）	35日	3,838	常設1 もじのちから 常設2 讃岐漆芸ってなんだ？ ～技法と風景～
第4期	1/5（木）～3/26（日）	68日	3,724	常設1 素材であそぶ —令和3年度新収蔵作品を中心に 常設2 讃岐漆芸の美 —アムステルダム国立美術館漆芸展 出品作品を中心に— ※3/11（土）～3/26（日）の期間は、常 設展示室1において「第40回日本伝統漆 芸展」を開催。[*1,366人]
合計		239日	18,555	

ウ 貸館

(ア) 一般展示室・企画展示室

開催展数12展 開催日数47日間 入場者数22,747人（1日平均 484.0人）

展覧会名	会期	日数	入場者数 (人)	展覧会の内容
第48回高松市民美術展	4/5（火） ～4/10（日）	6日	1,500	各会の会員の作品
第81回創元展 香川巡回展	6/14（火） ～6/19（日）	6日	1,034	同会会員の油彩画等の作品
独立美術四国会展	6/28（火） ～7/3（日）	6日	602	同会会員の絵画の作品
第14回一榮会書展	7/1（金） ～7/3（日）	3日	531	同会会員の書の作品

第63回墨華書道展	9/22 (木) ～9/25 (日)	4日	1,526	同会会員の書の作品
第23回讀友書展	1/7 (土) ～1/9 (月)	3日	694	同会会員の書の作品
令和4年度高松市教育文化祭展覧会	1/13 (金) ～1/15 (日)	3日	6,181	市内小・中学校児童、生徒の作品
令和4年度 第18回香川県小中学校総合文化祭展覧会	1/13 (金) ～1/15 (日)	3日	6,189	県内小・中学校児童、生徒の作品
第39回香川県高等学校総合文化祭展覧会美術・工芸展	1/19 (木) ～1/22 (日)	4日	801	県内高校生の美術・工芸作品
第39回香川県高等学校総合文化祭書道展	1/19 (木) ～1/22 (日)	4日	843	県内高校生の書の作品
第49回毎日書道学会展	1/27 (金) ～1/29 (日)	3日	859	同会会員の書の作品
第13回青澄かな書作展 第54回正筆会菁華書作展香川展	3/25 (土) ～3/26 (日)	2日	1,987	同会会員の書の作品
合計		47日	22,747	

(イ) 市民ギャラリー

開催展数34展 開催日数195日間

入場者数19,632人 (1日平均 100.7人)

(2) 教育普及活動

主催特別展の開催に併せて、展示のテーマに沿った記念講演会やトーク等を開催した。また、子どもから大人まで幅広い世代を対象に各種ワークショップ等を開催した。

ア 記念講演会等

開催日	講師・出演者	内容	参加者数 (人)
7/16 (土)	藏座江美 (キュレーター) 鴻池朋子 (出品作家)	クロストーク 1 「絵の波打ち際から」	82
8/7 (日)	伊沢正名 (糞土師、元自然写真家) 鴻池朋子 (出品作家)	クロストーク 2 「糞土思想から“みる”驚き」	67
10/1 (土)	赤松音呂、諫山元貴、稲崎栄 利子、北野謙、本田健 (ア ニユアル展出品作家)	アーティスト・トーク	77
11/12 (土)	柘あおい (まんが家) 相田聡一 (「りぼん」編集部 編集長)	「さくらももこ展」 開催記念スペシャルトークショー	70
2/11 (土)	笥菜奈子 (東海大学講師)	記念講演会1 「20世紀美術の巨星たちの軌跡を たどる」	75

3/4 (土)	平芳幸浩 (京都工芸繊維大学教授)	記念講演会2 「版画・エディション・マルチプル ーマルセル・デュシャンと 複製技術ー」	60
参加延べ人数			431

イ アートアドバイザー講座「まぶさび教室」

開催日	講師	テーマ	内容	参加者数 (人)	
5/7 (土)	篠原資明 (当館ア ートアドバ イザー)	シーズン12 「アートな 雲たち」	一休さんと寅さん	25	
6/4 (土)			西洋美術の雲	31	
7/2 (土)			日本美術の雲	32	
9/3 (日)			現代アートの雲	32	
10/8 (土)			おーい！雲よ	34	
11/5 (土)		シーズン13 「ヤワコすぎて ヤバすぎて」	空海ヤワコロジ	38	
12/3 (土)			サヴィニオ	31	
1/7 (土)			タルホロジ	32	
2/4 (土)			衣服のヤワコロジ	32	
3/4 (土)			太陽の塔と宇宙風呂敷	52	
参加延べ人数				339	

ウ ギャラリートーク (*トポストーク)

(ア) 特別展

※[]は展覧会入場者数と重複

展覧会名	開催日	担当者	参加者数 (人)
みる誕生 鴻池朋子展*	7/17 (日) 7/24 (日)	担当学芸員	[延べ35]
高松コンテンポラリーアート・アニュアル vol. 11 フラジャイル／ひそやかな風景	10/2 (日)	担当学芸員	[22]
高松市美術館コレクション ^{プラス} 版画でたどる20世紀西洋美術 ー画家たちの挑戦ー	2/12 (日)	担当学芸員	[31]
参加延べ人数			[88]

(イ) コレクション展

※[]は展覧会入場者数と重複

展覧会名	開催日	担当者	参加者数(人)
第1期	6/4(土)	担当学芸員	[19]
第2期	9/17(土)	担当学芸員	[11]
第3期	11/19(土)	担当学芸員	[7]
第4期	1/21(土)	担当学芸員	[11]
参加延べ人数			[48]

エ ワークショップ

開催日	講師	内容	対象	場所	参加者数(人)
会期中の日曜日・祝日	当館学芸員	Let's かもPLAY	—	中2階ロビー	延べ745
7/17(日) 8/21(日) 8/24(水)	鴻池朋子(出品作家) 当館学芸員	みる誕生会	見えない・見えにくい人、その他	1階講堂ほか	延べ20
7/30(土) 8/20(土)	当館学芸員	こども鑑賞プログラム	小学生以下(小学2年生以下は保護者同伴)	2階展示室ほか	延べ15
10/1(土) 10/2(日)	北野謙(アニュアル展出品作家)	ガラスの自画像	小学3年生以上	3階講座室	延べ10
2/18(土)	下村宏(版画家)	銅版画ワークショップ(午前/午後)	中学生~大人	3階講座室	延べ18
2/25(土)		こども向けワークショップ「巨匠たちを追い!紙で作る版画作品」(午前/午後)	小学生	3階講座室	延べ16
3/5(日)	当館学芸員	みる誕生会	見えない・見えにくい人、その他	1階常設展示室	10
3/12(日)	山本睦子(ヒンメリ作家)	フィンランド伝統の装飾品『ヒンメリ』をつくろう(午前/午後)	中学生以上	3階講座室	延べ38
参加延べ人数					872

オ 子どものアトリエ

開催日	講師	テーマ	対象	場所	参加者数 (人)
4/24 (日)	たのかずあき ・あいこ	やったあ！バッグ	年中～小学生	3階 講座室	20
4/30 (土)	(Romp art tree)	探検 冒険 虫めがね	年少～小学生	3階 講座室	20
7/23 (土)	千葉尚実 (美術家)	じょうずに描かないた めの道具を作ろう	小学1年～6年生	3階 講座室	9
7/24 (日)	上野あづさ (美術家・絵 のきょうしつ 主宰)	つくる昆虫標本	3歳～小学3年生	3階 講座室	18
12/17 (土)	長野由美 (芸術士®)	たまごさんの オーナメント	小学4～6年生	3階 講座室	7
12/17 (土)	佐々木あずさ (芸術士®)	クリスマスの世界をつ くって光を灯そう	小学4～6年生	3階 講座室	20
参加延べ人数					94

カ ふらっとアート

子どもを始め、来館者が気軽にアートを楽しむことのできる空間として、2016年のリニューアルにより中2階に新設された「こども^{プラス}（こどもアートスペース）」において、様々なアートプログラムを開催。下記プログラム参加者数を含め、こども^{プラス}（こどもアートスペース）利用者数は4,245人であった。

毎週木・土曜日12:00～16:00

開催日	プログラム内容	参加者数 (人)
4/16 (土)～5/29 (日)	ひとふでがお／どんなかお調査／こんなかお、 あるあるアルファベット／まるごとまるがお	[2,264]
8/4 (木)～8/6 (土)	ウンチをつくろう！ (8/4・8/5：13:00～16:00 8/6：10:00～16:00)	[249]
10/4 (火)～10/30 (日)	ハロウィンハンドパペット	[460]
11/12 (土)～12/25 (日)	マンガの記号“漫符”を使ってみよう！	[718]
2/11 (土)～3/21 (火・祝)	カンタン！紙版画体験！	[67]
—	その他	[75]
参加延べ人数		[3,833]

キ イベント（企画展・公開制作・パフォーマンスなど）

※[]は展覧会入場者数と重複

開催日	出演・講師等	内容	場所	参加者数 (人)
4/16 (土)	tupera tupera	公開制作ほか	1階エントランスホール	250
5/3 (火)	tupera tupera	絵本ライブ	1階講堂	98
8/2 (火) ～9/11 (日)	依田洋一朗	I AM A CAT	1階図書コーナー	—
8/7 (日)	木下知威（歴史学者） 鴻池朋子（出品作家）	筆談ダンス Dance in Writing	2階廊下	23
9/13 (火) ～1/9 (月・祝)	高松明日香	ついに青くなる地点	1階図書コーナー	—
10/4 (火) ～10/30 (日)	—	めいろにちょうせん！	1階エントランスホール	—
1/4 (水) ～3/31 (金)	—	金沢健一作品展示	1階エントランスホール	—
参加延べ人数				378

ク 出前講座等（館外でのアウトリーチ活動等）

開催日	講師	内容	開催場所	参加者数 (人)
7/29 (金)	当館学芸員補	アートで遊ぼう！	屋島西コミュニティセンター	25
7/31 (日)			高松市知的障がい者青年教室 「スキップクラブ」	54
8/10 (水)			カナンそごう児童クラブ	14
9/13 (火)			高松市社会福祉協議会 香南老人介護支援センター	9
12/6 (火)			高松市生涯学習センター (まなびCAN)	7
12/13 (火)				7
1/13 (日)			NPO法人川東校区 コミュニティ協議会	22
3/8 (火)			高松市社会福祉協議会 高齢者支援推進事業	20
参加延べ人数				158

ケ 美術館学習等

サンクリスタル学習等と連携させた美術館での鑑賞・施設学習を実施した。

サンクリスタル学習参加校のうちで、引き続き美術館での学習を希望する小学校を受け入れ（サンクリスタル高松ー美術館間の交通費を負担）、展覧会の団体鑑賞や施設見学を行った。6月3日から2月3日まで、参加校：15小学校 延べ人数：998人（引率者を含む）

また、サンクリスタル学習以外の美術館学習は、参加校49校、延べ1,144人であった。

コ 学校との連携事業

特別展鑑賞後、学校と美術館の活用について意見交換を行う他、展覧会に関連した作品制作をした。

開催日	参加者	内容	開催場所	参加者数 (人)
8/27 (土)	教員	学校と美術館のためのプログラム *特別展「みる誕生 鴻池 朋子展」関連	1階講堂 2階展示室ほか	5
1/11 (水) ～2/23 (木・祝)	高松市立勝賀中学校美術部	当館の所蔵作品と関連した作品を制作し、それらをランチギャラリーにて展示「108の個性それぞれ謎の生き物」	高松市立勝賀中学校、ランチギャラリー	35
2/26 (日) ～4/9 (日)	小豆島町立小豆島中学校芸術部	当館の所蔵作品と関連した作品を制作し、それらをランチギャラリーにて展示「地球の主」	小豆島町立小豆島中学校、ランチギャラリー	16
3/13 (月)	香川県立高松工芸高等学校デザイン科1年生	ヒンメリづくり *次年度特別展「フィンランドのライフスタイル展」関連	香川県立高松工芸高等学校	30
3/14 (火)	香川県立高松工芸高等学校デザイン科2年生	ヒンメリづくり *次年度特別展「フィンランドのライフスタイル展」関連	香川県立高松工芸高等学校	30
参加延べ人数				116

サ 美術館の日 (8月6日)

高松市美術館が昭和63年8月6日に開館したことに由来し、平成21年度から8月の第1土曜日を「美術館の日」と定め、観覧料を無料とするほか、「ふらっとアート」など、市民が気軽に美術館を訪れて楽しめる催しを開催した。

特別展観覧者[894人]、展示室での鑑賞を促す鑑賞カード利用者[140人]、ふらっとアート参加者[190人]、市民ギャラリー展示[163人]、ミニコンサート[52人]などの来館者(全て内数)があった。

シ 博物館実習・インターンシップ・職場体験等 (延べ18人)

博物館実習については、徳島文理大学ほか6大学から博物館実習生9名(8/2～8/7)を、せとうち観光専門職短期大学「臨地実務実習」として2名(10/28～11/15)ほか、職場体験学習として中学校

2校計7名（9/13～15、10/26～27）を受け入れた。

博物館実習生は、「美術館の日」（8月6日）に「ふらっとアート」のサポートのほか、市民ギャラリーにおいて、「ピンク」をテーマに企画展示「MY PINK」を行った。

ス 美術館友の会イベント

内容	開催日	行事名	参加者数 (人)
友の会美術鑑賞 旅行	11/20（日）	橋×アート紀行 ① 大鳴門橋×大塚国際美術館	19
	11/23 （水・祝）	橋×アート紀行 ② 瀬戸大橋×香川県立東山魁夷せとうち美術館	12
参加延べ人数			31

セ 動画配信「おうちでアート」

新たな美術鑑賞の手法として、展覧会作品解説、また簡単な作品作りのほか、講演会や講座「まぶさび教室」などを動画配信した。

※令和2年5月28日より公開

	公開日	配信本数	全番組視聴数合計 (公開月)
4月	4/1～4/30	0	901
5月	5/1～5/31	0	1,306
6月	6/1～6/30	0	1,572
7月	7/1～7/31	0	1,695
8月	8/1～8/31	0	1,640
9月	9/1～9/30	0	1,043
10月	10/1～10/31	2	1,028
11月	11/1～11/30	0	693
12月	12/1～12/31	3	762
1月	1/1～1/31	2	832
2月	2/1～2/28	3	855
3月	3/1～3/31	2	767
合計		12	13,094

(3) 芸術的催し物

ア ミニコンサート等

特別展会期中に、県内演奏家等によるミニコンサートを1階講堂で開催した。

内容	開催日	行事名	監修・出演等	関連する展覧会	入場者数 (人)
ミニコンサート	5/14 (土)	みて、きいて、たのしもう PART3	出演：みゅーじっくすペーす・コモド	tupera tupera のかおてん.	54
	8/6 (土)	動物たちの音楽会 2022	協力：香川大学 監修：青山夕夏	みる誕生 鴻池朋子展	52
	10/1 (土)	In A Landscape	出演：波多翼 (ピアノ)	高松コンテンポラリーアート・アニュアル vol. 11 フラジャイル／ひそやかな風景	89
	11/26 (土)	ちょこっとアニメ音楽♪	出演：平井雄大 (トランペット)、道久明子、大山まゆみ (ピアノ)	さくらももこ展	68
	3/18 (土)	Roll on spring! ～春の訪れを待ちわびて～	出演：木太美和子 (フルート)、西浦弘美 (ヴァイオリン)、大山まゆみ (ピアノ)	高松市美術館コレクション ^{プラス} 版画でたどる20世紀西洋美術—画家たちの挑戦—	113
参加延べ人数					376

イ エントランスホール活用事業 (公募企画)

エントランスホールの活用を図り、来館者に気軽に文化芸術に触れてもらうため、コンサートやダンス公演等で同ホールを利用する団体を初めて募集した。

内容	開催日	行事名	主催団体	入場者数 (人)
コンサート	1/22 (日)	音楽のミニアチュール 久石譲の描く世界	高松交響楽団 (TSO)	330
コンサート	1/22 (日)	印象派の絵画と楽しむ音楽	MGKアーティスト企画	110
コンサート	2/4 (土)	栗っ子コーラスコンサート	高松市立栗林小学校合唱部	246
コンサート	2/5 (日)	フルートオーケストラと心に響くひとときを	クリシュナフルートアンサンブル	219
参加人数				905

(4) 施設の提供

美術館の講堂を講演会・コンサート等の会場に、講座室を創作活動の場として利用に供した。また、美術図書コーナーを一般利用者に開放した。

施設名	利用回数等	利用人数
講堂	107回	3,347人
講座室	395回	5,538人
美術図書コーナー	310日	5,609人
合 計		14,494人

(5) 美術資料の収集

ア 収集の方針

収集対象を香川の美術と戦後の美術に大きく分け、香川の美術では伝統的な漆工と金工に重点を置いて収集し、戦後の美術として、国内作家については、1945年以降の現代美術に的を絞り、外国作家は日本の戦後美術史の流れに多大な影響を与えた20世紀初頭から現代に至る作品を版画で系統的に収集する。

イ 美術資料等の収集

美術品の取得方針に基づき、当館に収蔵する美術品を計画的・系統的に購入したほか、寄贈による美術品の収集に努める。また、二次資料として美術図書及び映像資料を継続的に収集する。

(美術品)

(単位：点)

区分		洋画	日本画	彫刻	工芸	書	計
令和4年度	購入	7	—	1	1	—	9
	寄贈	18	—	—	24	—	42
合計			—		—	—	
累計		831	46	273	598	16	1,764
内訳	購入	661	24	241	396	12	1,334
	寄贈	170	22	32	202	4	430

(図書)

(単位：冊)

区分	購入	寄贈	除籍	計	累計
美術図書	133	170	0	303	33,292
展覧会図録	5	300	0	305	20,040
合計	138	470	0	608	53,332

■新規収蔵作品

区分	種別	作品名（制作年）	作家名
購入	立体・彫刻	チョウズマキ（2016年）	赤松 音呂
	平面・映像	Objects # 14、Objects # 15（2点）（2023年）	諫山 元貴
	平面・手芸	風が語った昔話（2015年）	鴻池 朋子
	平面・素描ほか	瀬戸内国際芸術祭2022大島における「逃走階段」に関する計画資料（2022年）	鴻池 朋子
	平面・油彩	きているもの・きそうなもの……それとP（2022年） 忘れて忘れたはずの、青のはなし（2021年）	中野 裕介 ／パラモデル
	平面・写真	タイム・アンド・スペース/イサム・ノグチ、1989年作（2022年）	潘 逸舟
	平面・油彩	Trinitite-サイパン島同胞臣節を全うす（2013年）	平川 恒太
	平面・油彩	鹿の骨 オニユリ（2022年）	本田 健
	工芸・漆工	乾漆存清八角箱「三兄妹」（2020年）	辻 孝史
寄贈	平面・油彩	約束Ⅱ（1984年）	石原 友明
	立体・彫刻 平面・版画	俊徳丸の模型（よろぼう少年）（2014年）ほか4点	中野 裕介 ／パラモデル
	平面・油彩	私クロスオーバー！（2019年）	松井 えり菜
	平面・版画	le jardin secret（2022年）	松井 えり菜
	工芸・金工	金と黒A（1957年頃）	大須賀 選
	工芸・金工	まんだらとうろう（1964年）	大須賀 選
	工芸・金工	壁のかざり（ブラケット）（1969年）	大須賀 選
	工芸・金工	みちしるべ（1969年）	大須賀 選
	工芸・金工	流れ・揺れ集合する線（1972年）	大須賀 選
	工芸・金工	天空に穴を穿つ（1973年）	大須賀 選
	工芸・金工	伸びる形（1977年）	大須賀 選
	工芸・金工	斜線文接合角壺（1981年）	大須賀 選
	工芸・金工	羊歯文鉄飾皿（1982年）	大須賀 選
	工芸・金工	星河文黒銅色紙筥（1983年）	大須賀 選
	工芸・金工	水禽盤（1986年）	大須賀 選
工芸・金工	草花文南鐐鉢（1992年）	大須賀 選	
工芸・金工	荒磯文色紙筥（1995年）	大須賀 選	

	工芸・金工	斜線文緑瓶 (1996年)	大須賀 選
	工芸・金工	蜻蛉文黒銅香炉 (1997年)	大須賀 選
	工芸・金工	蜻蛉文黒銅小筥 (1999年)	大須賀 選
	工芸・金工	草花文黒銅篋 (2000年)	大須賀 選
	工芸・金工	瑞雲文鉄香炉 (2000年)	大須賀 選
	工芸・金工	瀑布文鉄花器 (2001年)	大須賀 選
	工芸・金工	赤不二色金薫炉 (2005年)	大須賀 選
	工芸・金工	條線文銅花器 (2006年)	大須賀 選
	工芸・金工	鈴虫文鉄小筥 (1965年)	大須賀 喬
	工芸・陶芸	千鹿絵付茶盃 (制作年不明)	北原 千鹿
	工芸・漆芸	彫漆 葡萄文飾盆 (1952年)	池内 荷芳
	平面・油彩	1965-09 (1965年)	川島 猛
	平面・油彩	1966-N.Y. 5 (1966年)	川島 猛
	平面・油彩	タイトル不詳 (1995年)	川島 猛
	平面・版画	blue and white No.2 (1987年)	川島 猛
	平面・素描	裸婦 (2010年)	川島 猛
	平面・版画	ドリームランドエンジェル (1988-1991年)	川島 猛
	平面・油彩	DREAM LAND J. T. R. R. -1990 NO. 79 January 13, 1990 (1990年)	川島 猛
	平面・版画	J. T. H-No. 1 (1976年)	川島 猛
	平面・版画	Angel Bird (1972年)	川島 猛
	平面・版画	Red and Black A-C (1969年)	川島 猛
	平面・版画	Red and Black A-B (1968年)	川島 猛
	平面・版画	Red and Black A-A (1968年)	川島 猛
	平面・版画	ルロット (グールバル サンジャック) (1939年)	猪熊 弦一郎
	平面・版画	カーニユ南仏 (1939年)	猪熊 弦一郎
寄託	平面 (素描)	絵本『焚書 World of Wonder』原画 (2011年)	鴻池 朋子
	平面 (素描)	山あるき 一月 (1999年)	本田 健
	工芸 (漆工)	籃胎寄木蒔醬盛器 熱帯魚 (1984年頃)	太田 儔
	工芸 (漆工)	蒔銀匣 萌 (制作年不明)	安本 一夫

(6) 美術館ボランティアの活動

ア 美術館ボランティア

市民の美術活動の支援と展覧会観覧者の利便を図るため、美術館ボランティア c i v i (シヴィ) を設置し、平成11年度から活動を行っている（令和4年度登録者数13人）。令和4年度は、特別展のギャラリートークや、ワークショップのアシスタントほか、対話型の「おしゃべり鑑賞会」を行った。

イ ギャラリートーク

※[]は展覧会入場者数と重複

特別展	担当者	開催回数 (回)	参加者数 (人)
みる誕生 鴻池朋子展 *トポストーク	美術館ボランティア	7	[76]
高松コンテンポラリーアート・アニュアル vol. 11	美術館ボランティア	7	[104]
高松市美術館コレクション ^{プラス} +	美術館ボランティア	5	[74]
高松市美術館コレクション ^{プラス} + *おしゃべり鑑賞会	美術館ボランティア	2	[53]
合 計		21	[307]

(7) 高松市美術館サポートショップ事業

高松市中央商店街等周辺店舗と連携し、周辺の活性化及び美術館来館者の増加を目指すことを目的として、美術館は、店舗を利用又は訪問した方々に渡すための割引券（特別展を2割引で鑑賞可）を店舗に提供し、店舗の一部においては、特別展の半券又は有効期間中の定期観覧券を提示することで、商品割引等が受けられる独自特典を提供するなど、提携事業を実施している。

令和3年度からは、各商店街組合事務所の協力の下、商店街組合加盟店舗への展覧会チラシの一斉配布を行い、高松市中央商店街との一層の連携強化に努めた。

令和4年度の展覧会チラシ、サポートショップ割引券の配布対象店舗（商店街組合加盟店）は約740店舗。サポートショップ加盟店舗（商店街組合非加盟店も含む）は32店舗。

(8) ブランチギャラリー

高松丸亀町商店街に移転オープンした「しごとプラザ」のショーウィンドーにおいて、高松丸亀町商店街組合との連携事業として、高松市美術館の新しい展示空間「ブランチギャラリー」を令和3年3月13日に開設し、高松市美術館と高松市塩江美術館両館の展覧会関連やゆかりの展示を企画した。

展覧会名	会期
tupera tupera 「香川かおmixタワー」	4/18 (月) ~5/29 (日)
第5回かがわ・山なみ芸術祭2022 塩江エリア作家紹介	6/28 (火) ~7/31 (日)
依田洋一朗展 「Bromide Paintings」	8/2 (火) ~9/11 (日)

高松明日香展「遠雷の音」	9/13（火）～1/9（月・祝）
高松市立勝賀中学校美術部 「108の個性それぞれの謎の生き物」	1/11（水）～2/23（木・祝）
小豆島町立小豆島中学校芸術部「地球の宝」	2/26（日）～4/9（日）

(9) 新型コロナウイルス感染症対策

休館・休室は行うことなく、基本的な感染対策を講じながらの運営に努めた。

(10) ICTの活用

SNSのフォロワー数 令和5年3月31日現在

Facebook	1,106人
Twitter	1,547人
YouTube	377人
Instagram	3,665人

(11) キャッシュレス化

市民サービスの向上及び新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、令和4年3月1日よりキャッシュレス決済システムを導入している。観覧料や図録代金等の支払の際に、クレジットカードや電子マネーの利用が可能となった。

(12) 自己評価

令和4年度の事業活動や運営についての振り返りを行うため、公益財団法人日本博物館協会の「博物館自己点検システム」による自己評価を行った（令和5年4月）。

結果は次のとおりであり、合計、評価領域毎ともに、全国平均を上回った。

【結果】

領 域	項目数	高松市 美術館	博物館全 体の平均	美術館 の平均	市立の館 の平均	大規模館 の平均
A. 館長・館の経営責任	15	12	8.0	8.4	7.6	9.6
B. 利用者・市民・地域との関係	14	13	7.5	8.1	7.2	9.1
C. 展示	15	15	8.9	10.4	8.5	10.8
D. 教育普及	14	13	7.5	7.3	7.4	9.7
E. 学芸員・一般職員	10	8	5.9	6.5	5.8	6.9
F. 調査研究	9	7	4.8	4.7	4.5	5.8
G. 資料・コレクション	16	15	8.8	10.5	8.4	9.9
H. 施設・アメニティー	17	17	10.3	11.2	9.5	12.4
合 計	110	100	61.7	67.1	58.9	74.2

(大規模館は常勤職員 10人以上)

2 高松市塩江美術館

美術館主催事業として企画展及び常設展を開催するとともに、企画展示室・ホールを貸館として個展等の利用に供した。

高松市塩江美術館の利用者数 15,794人 (開館日数 308日)

(1) 展覧会

開催展数 10展 (内訳/企画7展・常設3展)

開催延日数 551日間

入場者延数 15,186人 (1日平均27.6人)

ア 企画展 開催展数：7展 開催日数：261日間 入場者数：7,444人 (1日平均28.5人)

展覧会名		会期	日数	入場者数 (人)	展覧会の内容
1	アーティスト ミズカ WITH	4/9 (土) ～5/15 (日)	32日	1,245	アーティストのミズカ(香川県在住)の県内初の個展。ぼうやシリーズと紙漉きシリーズを紹介した。
2	かがわ・山なみ芸術祭2022 連携事業 芸術の四国遍路展	5/21 (火) ～6/26 (日)	32日	1,656	『かがわ・山なみ芸術祭2022 SIONOE』関連事業として、パルコキノシタ氏(美術家)企画による四国4県での巡回展「芸術の四国遍路展」。四国4県から集まった様々なジャンルのアーティスト12名の作品を紹介した。
3	画家 松山真理 繋がる	7/5 (火) ～8/28 (日)	48日	1,538	描くことで自分を生かしてきたと語る画家松山真理の個展。他者と自分そして自然などと「繋がる」をキーワードに20点の作品を紹介した。
4	写真家 脇秀彦展 今を生きている	9/6 (火) ～10/23 (日)	42日	1,576	写真家脇秀彦(香川県在住)の個展。写真作品だけでなく映像作品やインスタレーションを含め脇の哲学観を表した作品を紹介した。
5	シカク ー四角を視覚せよー	11/3 (木・祝) ～12/11 (日)	34日	616	人間はモノを認識する際、光の刺激を受け、視覚を使って対象物を認識する。本展では、所蔵作品の中から四角(形)に着目した作品25点を紹介した。
6	コトバがみえる	12/20 (火) ～2/5 (日)	37日	270	所蔵作品の中から、白と黒で構成された版画と書の作品を紹介した。

7	栗原慶 陶展 Pale Clear	2/14 (火) ～3/26 (日)	36日	543	陶芸家栗原慶(徳島県在住)の個展。瀬戸内の空や波や風といった自然界からインスピレーションを受けた栗原による作品20点を紹介した。
---	----------------------	-----------------------	-----	-----	--

イ 常設展(3期) 開催日数:290日間 入場者数:7,742人(1日平均26.7人)
美術館の所蔵品のうち、テーマを設定して年間3回の入れ替えで展示。

展覧会名	会期	日数	入場者数(人)	展覧会の内容
※前年度第Ⅲ期 フォトしおのえ	4/1(金) ～4/10(日) *会期は令和3年 12/21(火)から	9日	240	「塩江」をテーマに公募した写真作品44点を紹介した。
第Ⅰ期 香川の作家シリーズ① 江戸 健/色彩との対話	4/19(火) ～8/14(日)	102日	3,886	新制作協会に所属していた江戸健(1927-2017)は、香川で活動して、地域の芸術文化の発展に寄与した。当館所蔵作品と関連資料等の中から生涯色彩を探究し続けて描いた作品を紹介した。
第Ⅱ期 香川の作家シリーズ② 小林正六/まなざし	8/23(火) ～11/27(日)	84日	2,624	香川県内で長年にわたり子どもたちの美術教育に携わった小林正六(1917-2006)を紹介。所蔵作品の中から独自のマチエールで描かれた作品20点を紹介した。
※ 第Ⅲ期 香川の作家シリーズ③ 池田利夫/木版画に魅せられて	12/6(火) ～3/31(木) *会期は令和5年 4/16(日)まで	95日	992	香川県在住の池田利夫が制作した木版画作品の中から「身近な植物」をモチーフに制作して生物学的知識や歴史的背景が盛りこまれた作品を紹介した。

※年度をまたいでの開催(年度別の実績)

(2) 美術講座

企画展に合わせたワークショップや陶芸教室、風鈴づくり教室等を開講した。

ア ワークショップ等

※ [] は展覧会入場者数と重複

タイトル	開催日	講師	内容	参加者数(人)
アーティスト・レクチャー	4/29(金・祝)	ミズカ	企画展出品作家による作品解説	38
企画展関連WS 「色を楽しもう！」	5/3(火・祝)	ミズカ	色を楽しむワークショップ	23
企画展関連公開制作 ライブペインティング	7/9(土)	松山真理	音楽に合わせて即興で絵画を制作	[55]
アーティスト・レクチャー	8/13(土)	松山真理	企画展出品作家による作品解説	30

アーティスト・レクチャー	9/23 (金・祝) 10/10 (月・祝)	脇秀彦	企画展出品作家による作品解説	延べ61
キュレーターズトーク	11/12 (土) 12/3 (土)	担当学芸員	担当学芸員による作品解説	延べ3
キュレーターズトーク	12/24 (土) 1/21 (土)	担当学芸員	担当学芸員による作品解説	延べ2
アーティスト・レクチャー	2/23 (木・祝)	栗原慶	企画展出品作家による作品解説	43
企画展開連WS「マグカップや小物入れなどを板づくりで作ろう!!」	3/18 (土)	栗原慶	形と色に焦点を当てた作品を制作するワークショップ	14
参加延べ人数				214 [55]

イ 陶芸教室

タイトル	開催月日	講師	内容	受講者数 (人)
夏の風鈴づくり教室	7/23 (土)・ 24 (日)	貴志勉 (陶芸家)	陶土を使用したオリジナルの風鈴を制作 (1日2回実施)	36 (23日) 18 (24日) 18
陶芸教室	9/10・17・24・ 10/1・15・22・ 29・11/12 (各土曜日)	田淵太郎 (陶芸家)	全8回の日程で受講者を募り、基礎コースと経験者コースに分かれて陶芸作品を制作	延べ96
参加延べ人数				132

ウ 芸術的催し物

タイトル	開催日	出演	内容	入場者数 (人)
あんどさきこライブ/ 工藤冬里ライブ	5/21 (土)	あんどさきこ 工藤冬里	企画展のオープニングイベントとして、ダンスパフォーマンスを開催	30
天歌布武信長のドリームバンドライブ	5/22 (日)	天歌布武信長のドリームバンド 四国でできた家臣バンド	企画展開連イベントとして、ギター演奏を開催	41
参加延べ人数				71

(3) その他事業

ア 貸館事業

美術団体、個人や小グループ等の作品発表の場として、企画展示室・ホールを提供した。

貸出場所	行事名	会期	入場者数 (人)	内容
ホール・ 企画展示室	公演 「岩べえと岩戸の姫」	10/25 (火) ～10/30 (日)	117	主催：yuicco project 企画構成、演出：及川みのる

イ 博物館実習・インターンシップ・職場体験等

博物館実習生施設見学 6月18日（土） 11人（四国学院大学）

ウ 美術館の日 【8月6日（土）】 利用者数 [155人]

高松市美術館が昭和63年8月6日に開館したことに由来し、平成21年度から8月の第1土曜日を「美術館の日」と定め、観覧料を無料とするほか、美術館で一日有意義に過ごしていただくことを趣旨に開催した。

- ・ポスター、チラシを使ったエコ紙袋づくり
- ・布を使ったフラワーアクセサリーづくり 計63人参加

エ 公有財産目的外使用（貸出）

喫茶室の貸出（R4.4.29営業開始）

（４） 美術資料の収集

ア 収集の方針

- （ア）香川県にゆかりのある作家の作品
- （イ）塩江に関する資料等

イ 美術資料等の収集

美術品の取得方針に基づき、当館に収蔵する美術品を計画的・系統的に購入・寄贈などにより美術品の収集に努める。

（単位：点）

区 分		洋画等	日本画	彫刻	工芸	書	その他	計
令和4年度 取得作品	購 入	—	—	—	—	—	—	—
	寄 贈	—	—	—	—	—	—	—
累 計		673	7	12	14	119	459	1,284
内 訳	購 入	47	—	6	8	—	1	62
	寄 贈	626	7	6	6	119	458	1,222

※その他（写真、熊野俊一資料、藤澤東峯関連書籍、芸術祭作品）

（５） 新型コロナウイルス感染症対策

休館・休室を行うことなく、基本的な感染対策を講じながらの運営に努めた。

(6) 自己評価

令和4年度の事業活動や運営についての振り返りを行うため、公益財団法人日本博物館協会の「博物館自己点検システム」による自己評価を行った（令和5年4月）。

結果は次のとおりであり、合計では全国平均を上回ったが、「調査研究」領域では、博物館全体、美術館及び市立の館の全国平均を下回った。

【結果】

領域	項目数	高松市塩江美術館	博物館全体の平均	美術館の平均	市立の館の平均	小規模館の平均
A. 館長・館の経営責任	15	12	8.0	8.4	7.6	6.5
B. 利用者・市民・地域との関係	14	12	7.5	8.1	7.2	6.0
C. 展示	15	11	8.9	10.4	8.5	7.3
D. 教育普及	14	11	7.5	7.3	7.4	5.7
E. 学芸員・一般職員	10	8	5.9	6.5	5.8	4.7
F. 調査研究	9	4	4.8	4.7	4.5	3.8
G. 資料・コレクション	16	14	8.8	10.5	8.4	7.8
H. 施設・アメニティー	17	14	10.3	11.2	9.5	8.5
合計	110	86	61.7	67.1	58.9	50.3

(小規模館は常勤職員 5人未満)

令和5年度事業計画

令和5年度事業計画

1 高松市立美術館の運営方針

高松市立美術館運営方針（平成28年4月策定、令和3年4月改定）の中で、高松市立美術館は、「創造都市高松の文化芸術の拠点として、市民に必要とされ、かつ、市民を始め、国内外の人々に親しまれ創造性あふれる美術館」を目指すことを方針としており、「高松市の美術館としての独自性や創造性を生かしつつ効率的な運営」に努めるものとする。

継続する主な取組（H28.4～）

展覧会の充実

- 巡回展 幅広い分野から集客性や先進性等のバランスに配慮
 - 現代アート展 瀬戸内国際芸術祭との連携
新しい世代のアーティストを含めた作家の紹介（アニュアル展）
 - コレクション展 当館コレクションと関連アーティストを組み合わせで紹介
- 今後とも、より魅力的な展覧会の企画に取り組むとともに、積極的な情報発信を行う。

教育普及

- 各講座や市政出前ふれあいトーク等の実施、こどもアートスペース等の活用
- 今後とも、積極的な情報発信を行い、幅広い年齢層の方に美術に親しんでいただく。

美術品の収集・保管

- 収蔵美術品が、国内外の美術館に貸し出されているとともに、教科書をはじめ各種出版物への掲載依頼があるなど、高い評価を得ている。
- 今後とも引き続き、取得方針を踏まえた美術品の収集と保管に努め、展覧会において展示を行い、広く市民の方の鑑賞に供していく。

地域、市民ボランティア、友の会、学校等との連携

新たな主な取組（R3.4～）

ICTの活用

- 動画配信 動画配信により、新たな美術品鑑賞等の機会を提供する。
- SNSの活用 フェイスブック、インスタグラム等を活用した、効果的な情報発信を行う。

学校との連携強化

- 小中学校（瀬戸・高松広域連携中枢都市圏内を含む）への展覧会案内に加え、美術館学習やオンライン授業の開催など

エントランスホールの活用

- 展覧会行事や友の会コンサート等に加え、関係団体等と連携したコンサート等の開催

キャッシュレス化

- クレジットカードや電子マネー等を利用したキャッシュレスに対応する観覧料等の納付

2 高松市美術館

内外の優れた美術作品の展覧会の充実、系統的な美術品の収集を進めるとともに、ワークショップや講座等、子どもたちが豊かな感性を育むことができる教育普及事業の充実に取り組んでいく。また、中心商店街に近接した都市型美術館という立地条件を生かし、地域との連携の強化により、まちづくりと一体となった取組を進め、都市機能の向上に寄与する美術館を目指す。

開館35周年を迎える今年度は、記念特別展を開催するほか、誰もが来館しやすく、魅力ある美術館とするため、エントランス活用の拡充など、積極的に各事業に取り組む。

(1) 展覧会・貸館

ア 特別展

展覧会名	会期	日数	内容
フィンランドの ライフスタイル ～暮らしを豊かにするデ ザイン～	4/15 (土) ～6/11 (日)	50日	森と湖の国フィンランド。人と自然との共生が世界で広く注目されはじめるよりも早く、20世紀初頭から、フィンランドの多くのデザイナーたちは、ものづくりにおいて自然との調和を重視してきた。 本展では、アルヴァ・アアルトやイルマリ・タピオヴァーラをはじめとする巨匠デザイナーの名作椅子の他、カイ・フランクやオイバ・トイッカ、石本藤雄など、陶器、ガラス、テキスタイル等の生活用品約800点と、それら優れたデザインを生み出したフィンランドの豊かな暮らしを紹介する。
上田薫展	7/15 (土) ～9/18 (月・祝)	57日	なま玉子やゼリーなど身近なモチーフを超写実的に描く上田薫（1928年東京生まれ）の初期作品から最新作まで紹介する。1954年東京藝術大学を卒業し、抽象画家、グラフィックデザイナーとして活動した上田は、70年代に入り写真を使って対象を精巧に描き出す独自の写実表現を確立した。リアルを追求した上田の作品は、情報技術が進み写真や映像の表現が進化し続けている現代においても、新しい視点で観客の目を楽しませてくれる。多彩な表現を続ける上田の描くことへのあくなき興味と挑戦を感じていただきたい。

令和5年度 国立美術館巡回展 20世紀美術の冒険者たち -名作でたどる日本と西洋 のアート-	9/30 (土) ~11/19 (日)	44日	1952年に開館した東京国立近代美術館は、約70年にわたって日本近現代美術の収集と歴史化に努め、日本の美術界をリードしてきました。本展では、日本と西洋の近現代美術の軌跡を東京国立近代美術館所蔵の洋画・彫刻コレクションによって展観する。岸田劉生、藤田嗣治、岡本太郎、ピカソ、カンディンスキーら東西の巨匠による名品の数々を紹介する。また巡回館である熊本県立美術館及び高松市美術館が所蔵する関連作品も併せて展示する。
川瀬巴水展 旅と郷愁の風景	1/24 (水) ~3/6 (水)	37日	大正から昭和にかけて活躍した木版画家・川瀬巴水(1883~1957〔明治16~昭和32〕年)。近代化の波が押し寄せ、街や風景がめまぐるしく変貌していく時代に、巴水は日本の原風景を求めて全国を旅し、庶民の生活が息づく四季折々の風景を描いた。初期から晩年までの代表的な作品など約180点により、叙情的な巴水の世界へと誘う。
4 展覧会		188日	

イ コレクション展

展覧会名	会期	日数	内容
第1期	4/6 (木) ~6/18 (日)	64日	展示室1 いろいろな線 展示室2 金工の美 大須賀喬と大須賀選
第2期	6/24 (土) ~9/18 (日)	75日	展示室1 [現代の美術] 私たちの生きる時代を感じさせる戦後日本の美術、また、これに関連のある20世紀以降の世界の美術を順次展示。 展示室2 [讃岐漆芸と金工] 玉楮象谷に始まる讃岐漆芸、北原千鹿を中心とする金工の流れを中心に展示。 ※3/9~3/27の期間は、常設展示室1において「第41回日本伝統漆芸展」を開催。
第3期	9/23 (土) ~11/12 (日)	44日	
第4期	11/15 (水) ~1/20 (土)	53日	
第5期	3/9 (土) ~3/27 (水)	16日	
5 期		252日	

ウ 貸館

美術団体、個人や小グループ等の作品発表の場として、一般展示室・企画展示室及び市民ギャラリー・講堂を提供する。

(2) 教育普及活動等

ア 主催特別展の開催に併せて、展示のテーマに沿った記念講演会やミニコンサートなどを開催するほか、教育普及活動を行うもの。

(ア) 講演会等の開催

(イ) ギャラリートーク

(ウ) ワークショップ

地元講師や県外講師によるワークショップを随時開催する。

(エ) 子どものアトリエ

美術作家による子ども対象の美術講座を開催し、学校の図画工作の授業とはまた違った環境での美術体験を提供する。

(オ) こども^{プラス} (こどもアートスペース)

リニューアルオープンにより新設された「こども^{プラス} (こどもアートスペース)」を活用し誰もが気軽にアートを楽しむことができるプログラム「ふらっとアート」などを提供する。

イ 施設の提供

美術館の講堂を講演会、コンサート等の会場に、講座室を創作活動の場として利用に供するほか、エントランスホールを作品展示やコンサート等に活用する。

ウ 美術館学習

展覧会の鑑賞教育等学校活動分野の積極的な活用を図るために、サンクリスタル学習参加校のうち希望校を美術館でも受け入れる美術館学習を実施する。

エ 動画配信「おうちでアート」

新たな美術鑑賞の手法として、「おうちでアート」として展覧会作品解説や簡単な作品作りを動画配信する。

(3) 美術館の日【8月5日(土)】

高松市美術館が、昭和63年8月6日に開館したことに由来し、平成21年度から8月の第1土曜日を「美術館の日」と定め、美術館で一日有意義に過ごしていただくことを趣旨に観覧料を無料とするほか、親子で楽しめるイベントなどを実施する。

(4) 美術資料の収集・公開

美術品の取得方針に基づき、美術館に収蔵する美術品の収集に努める。また、美術館の二次資料として美術図書及び映像資料を継続的に収集するとともに、高松市収蔵品情報システムの活用等によりこれら収蔵資料の積極的な公開に努める。

(5) 美術館ボランティアの活動

市民の美術活動の支援と展覧会観覧者の利便を図るため、美術館ボランティアcivi（シヴィ）によるギャラリートークを実施するとともに、子どものアトリエ等のワークショップの補助を行う。

(6) 高松市美術館サポートショップ事業

高松市中央商店街等周辺店舗と連携し、周辺の活性化及び美術館来館者の増加を目指すことを目的として、美術館は、店舗を利用又は訪問した方々に渡すための割引券（特別展を2割引で鑑賞可）を店舗に提供し、店舗の一部においては、特別展の半券又は有効期間中の定期観覧券を提示することで、商品割引等が受けられる独自特典を提供するなど、提携事業を実施する。

令和3年度から引き続き、各商店街組合事務所の協力の下、商店街組合加盟店舗への展覧会チラシの一斉配布を行い、高松市中央商店街との一層の連携強化に努める。

(7) ブランチギャラリー

高松丸亀町商店街組合との連携事業として、高松丸亀町商店街の「しごとプラザ」ショーウィンドーに開設中の「ブランチギャラリー」において、年間を通して特別展等と連携するなど多彩な展示を行う。

(8) ICTの活用

令和元年度から実施している美術館独自のSNS（Facebook、Twitter、YouTube、Instagram）の積極的な活用により、効果的な情報発信を行う。

3 高松市塩江美術館

山間の豊かな自然環境に立地する地域特性を生かした、芸術・文化を楽しむ空間作りを目指し、展覧会の充実や地域に根ざした取組を進める。

(1) 展覧会

ア 企画展

展覧会名		会 期	日数	展覧会の内容
1	GrandpaとGrandson －南岳と桓夫－	4/15 (土) ～5/28 (日)	38日	東かがわ市出身の漢学者藤澤南岳と、南岳の孫であり、著名な小説家藤澤桓夫。本展では、2人の書を取りあげ、桓夫の残した文献を読み解きながら、南岳が桓夫の生き方にどのように影響したかについて考察し、彼ら独自の哲学観を探し求めることを試みる。
2	後藤健吉・朝子展 モノクロームの光	6/6 (火) ～7/17 (月・祝)	37日	高松市在住の漆芸家後藤健吉と空間造形を施す朝子が、光をキーワードにモノクロームの世界を展示空間に生み出す。
3	『あそびにおいでよ』 ～2023夏休み 大島よしふ み彫刻展～	7/25 (火) ～9/3 (日)	36日	2010年から瀬戸内国際芸術祭に参加している彫刻家大島よしふみが、夏休みの1日を切りとったかのような空間を展示室で表現し、楽しさあふれる場を提供する。
4	すべてはその一滴から －ガラス作家 杉山利恵 展－ (仮)	9/12 (火) ～10/22 (日)	36日	高松市在住のガラス作家杉山利恵の個展。地域に身も心も育まれた自分であるからこそ、地域に恩返しができる制作がしたいこと、人と人が影響しあい生きていくことが尊いこと、そのメッセージをガラスにのせて伝える。
5	第37回 思可傘展 (仮)	10/31 (火) ～12/10 (日)	36日	香川県出身で京都市立芸術大学を修了した作家で結成したグループ。個々に作家活動をおこない年に一度、日本画・水彩画・版画・漆芸・陶芸・染色・立体など様々なジャンルの作品を紹介する。
6	女性を描く (仮)	12/19 (火) ～2/4 (日)	37日	約500点の所蔵絵画作品から、熊野俊一・江戸健・小林正六・小西嘉純の4人の作家たちが描いた女性像を紹介し、それぞれ女性の描き方の特徴などを考察する。

7	杉本羽衣展（仮）	2/14（水） ～3/31（日）	41日	香川県出身の美術家杉本羽衣は、非現実でありながらもどこか愛らしい抽象的な作品を描いている。愛する子供の誕生や愛する母の死を経て杉本が自分らしく生きることをテーマとした新作を含む作品を紹介する。
---	----------	---------------------	-----	--

イ 常設展（3期）

美術館の所蔵品のうち、テーマを設定して年間3回の入れ替えで展示する。

展覧会名	会期	日数	展覧会の内容
※前年度第Ⅲ期香川の作家シリーズ③ 池田利夫／木版画に魅せられて	4/1（土） ～4/16（日） *会期は令和4年 12/6（火）から	14日	池田利夫の木版画の世界を紹介する。
第Ⅰ期 鉛筆と淡彩で描く世界 －伊藤義久展－	4/25（火） ～8/6（日）	90日	伊藤義久の淡い色を用いて描かれた水彩画15点を紹介する。
第Ⅱ期 字をじっと見る	8/26（土） ～11/26（日）	80日	文字に着目し、書作品の新たな鑑賞アプローチを試みる。
※第Ⅲ期 風景の切りとり方	12/5（火） ～3/31（日） *会期は令和6年 4/14（日）まで	97日	写真家はどのように風景を切りとっているのか。構図、構成、写真とは何かなどを考察する。

※年度をまたいで開催（日数区切り）

（2） 美術講座

企画展に合わせたワークショップを開催するほか、陶芸教室や風鈴づくり教室等を開講する。

ア ワークショップ等

企画展に合わせたワークショップや出品作家によるアーティストレクチャー、担当学芸員による作品解説等を開催する。

イ 陶芸教室

タイトル	開催月日	講師	内容
夏の風鈴づくり教室	7/15（土）・ 16（日）	貴志勉 （陶芸家）	陶土を使用したオリジナルの風鈴を制作する。各日2回。
陶芸教室	9月中旬～11月上旬 （各日土曜日）	田淵太郎 （陶芸家）	全8回の日程で基礎コースと経験者コースに分かれて陶芸作品を制作する。

ウ 芸術的催し物

コンサートなど他分野におけるアートイベントを開催。

(3) その他事業

ア 貸館事業

美術団体、個人や小グループ等の作品発表の場として、企画展示室・ホールを提供する。

イ 博物館実習・インターンシップ・職場体験等

ウ 美術館の日 【8月5日（土）】

高松市美術館が、昭和63年8月6日に開館したことに由来し、平成21年度から8月の第1土曜日を「美術館の日」と定め、美術館で一日有意義に過ごしていただくことを趣旨に観覧料を無料とするほか、親子で楽しめるイベントなどを実施する。

エ 公有財産目的外使用（貸出）

喫茶室の営業、美術館のデッキ等の貸出

4 令和5年度予算

(1) 歳入

(単位：千円)

区分			令和5年度	令和4年度	対前年比
使用料及び手数料	使用料	美術館展覧会等観覧料	31,617	34,320	92.1%
		美術館使用料	11,633	14,129	82.3%
	手数料	美術品等撮影許可手数料	65	28	232.1%
財産収入	財産運用収入	基金運用収入	2	3	66.7%
	財産売払収入	物品売払収入	1,910	1,833	104.2%
繰入金	基金繰入金	塩江美術館美術品等取得基金繰入金	0	0	—
諸収入	雑入	社会教育費収入	13,233	15,592	84.9%
計			58,460	65,905	88.7%

(2) 歳出

(単位：千円)

区 分	令和5年度	令和4年度	対前年比
美術館運営費	37,639	37,930	99.2%
美術館管理費	132,623	121,047	109.6%
展覧会費	59,725	67,894	88.0%
美術教育普及費	1,480	1,529	96.8%
美術資料収集費	12,061	11,611	103.9%
塩江美術館美術品等取得基金積立金	2	3	66.7%
計	243,530	240,014	101.5%